

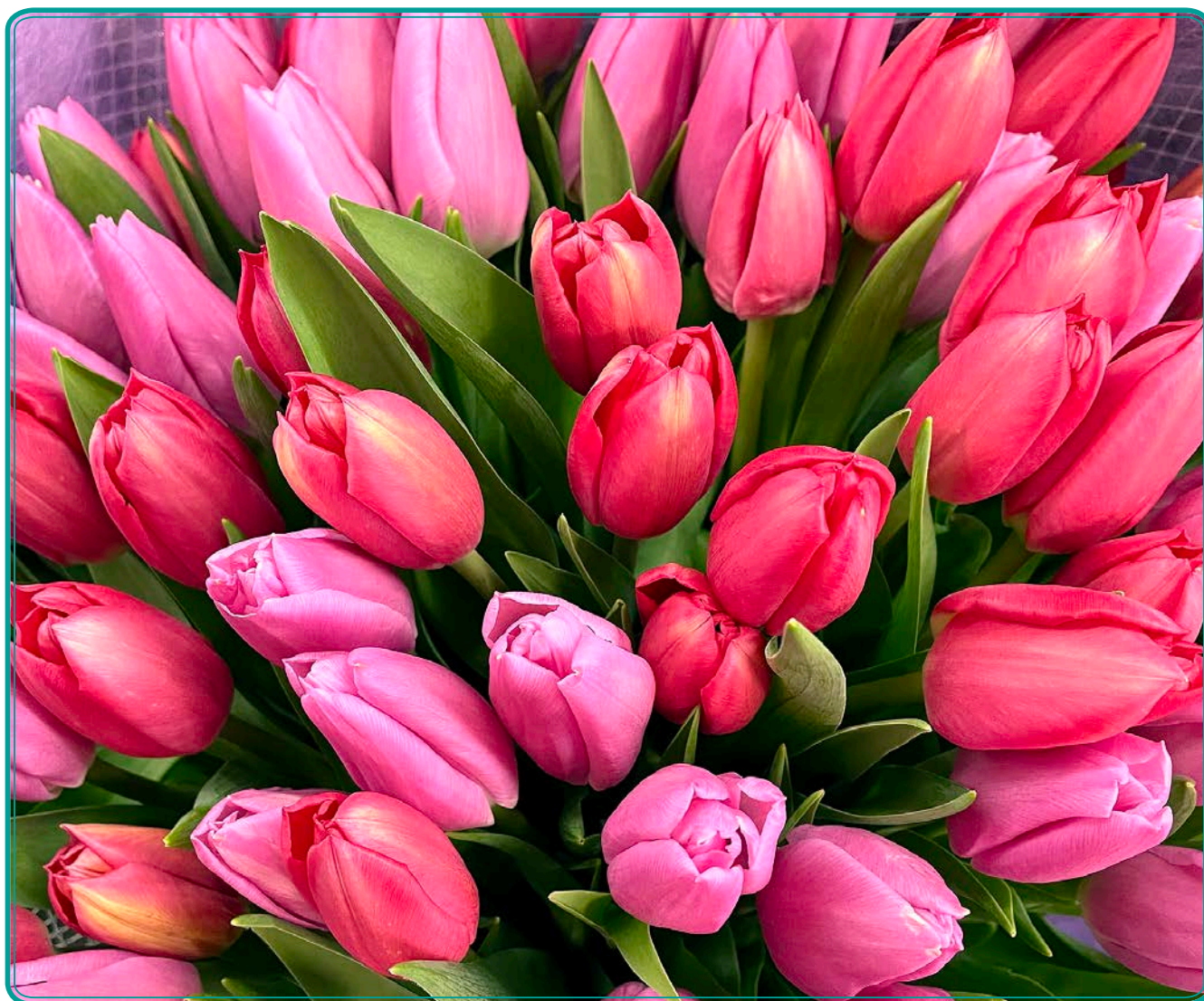
# 一般社団法人 千葉県理学療法士会 NEWS



2023年4月  
第227号

## もくじ

|              |   |
|--------------|---|
| 報 告          | 2 |
| 各部局士会活動案内・報告 | 3 |
| 編集後記         | 8 |



URL : <http://www.chiba-pt.org/>

県士会ニュース代表メールアドレス : [beekun.sai@gmail.com](mailto:beekun.sai@gmail.com)

### ◆ ニュース原稿メ切 ◆

|                                    |                                      |
|------------------------------------|--------------------------------------|
| No.228 6月号 (5月下旬～6月上旬着) メ切 4月20日   | No.231 12月号 (11月下旬～12月上旬着) メ切 10月20日 |
| No.229 8月号 (7月下旬～8月上旬着) メ切 6月20日   | No.232 2月号 (1月下旬～2月上旬着) メ切 12月20日    |
| No.230 10月号 (9月下旬～10月上旬着) メ切 8月20日 | No.233 4月号 (3月下旬～4月上旬着) メ切 2月20日     |

❖報 告❖

📺長いコロナトンネル

一般社団法人 千葉県理学療法士会  
副会長 高橋 聡

2019年12月初旬に、中国の武漢市で第1例目の感染者が報告されてから、わずか数カ月ほどの間にパンデミックと言われる世界的な流行となった新型コロナウイルス感染症。人類はこの得体のしれないウイルスに戦うすべが見つからず、混乱を招き、不安と恐怖に陥りました。

そして、私たち理学療法士の生活にも多大な影響を及ぼしました。

保健・医療・介護・福祉等の私たちの業界も大混乱となり、いつになったらこのパンデミックは終息するのだろうと、暗中模索しながら生活してきました。

私事ですが、現在4年制養成校の教員であり、2019年度入学生の担任でした。

その学生たちも先日の国家資格が終了し4月からは皆さんの仲間になります。

この学生たちはコロナと共に学生生活を過ごし、対面授業の中止によるリモート授業や臨床実習の中止や、見学のみの実習、学内実習と様々な制限を受けてきました。また、友達や先輩、後輩とのサークル活動や食事会などのコミュニケーションも制限され、マスクを外せず、決して楽しく充実した学生生活を送れたとは言い難かったかも知れません。

しかし、その逆境の中においても、学びの多様性を経験し、新たなコミュニケーションの取り方や過ごし方を創意工夫により創造し、何とかこの制限下の日々を楽しく過ごそうとする、学生のエネルギーに私も担任として元気をもらえました。

私たち理学療法士もこの逆境の中、自己犠牲を払いながらも、創意工夫と多様性、仲間との協力により、家族を守り、患者さんや利用者さんのために頑張ってきたと思います。

千葉県理学療法士会も対面事業の中止を余儀なくされ、研修会や学会、会議等もWEB形式で実施する決断をしてきました。ここでも対面コミュニケーションが制限されてしまいました。

しかし反面では、情報通信技術（ICT）の活用で職場や自宅等場所に左右されず、子育てや家事の合間に参加することも可能となりました。広い千葉県でするので、これは会員の皆さんにもメリットになったのではと思います。

皆さんにこのニュースが届く頃の4月には、翌5月の5類相当の感染症への引き下げまであと少しとなっていると思います。

3年半に渡った長いトンネルもようやく出口に近づき光が見えてきました。

2023年はコロナが及ぼす様々な制限が緩和される年になることでしょう。

しかし、これから1年の私たち理学療法士業界を取り巻く環境も決して楽な道のりではないと思います。

5類相当へ引き下げられることによる私たちの働き方への影響、物価高騰による生活への影響、私たちの質の向上、職域の拡大や確保、2024年のトリプル改定へ向けた準備等、様々課題は山積みです。

私たち千葉県理学療法士会も会員の皆さんのお力をお借りしながらではございますが、共にこれらの問題を一つ一つ解決し、皆さんが理学療法士として活躍できるよう活動を継続していきたいと思っております。

トンネルを抜ける年度、さあこれからです。

皆さん一緒に盛り上げていきましょう！

引き続きどうぞよろしくお願いたします！





## ❖各部局士会活動案内・報告❖

### 📠学術局報告

学術局 局長 藤 井 顕

日本理学療法士協会のホームページでは、新生涯学習の説明を動画などで分かりやすく解説されております。是非ともご覧ください。

登録理学療法士会員の皆様は、会員所属施設で行われる県士会承認症例検討会や県士会承認研修会による登録理学療法士の取得や更新に向けたセミナーの申請が自身のマイページから可能となります。日本理学療法士協会ホームページにて確認いただける開催要件ならびに県士会ホームページに掲載されている県士会独自の承認要件を確認の上、是非、申請をご検討ください。

### 【組織の改編について】

学術局 局次長 小 林 好 信

2023年度より、これまでの学術局企画運営部と単位管理部は、新たに生涯学習局と名称を変え、登録理学療法士の取得に向けた体制を整備していくことが2月の理事会で承認されました。これにより、生涯学習局には会員の登録理学療法士の取得を支援する前期研修部と後期研修部、登録理学療法士の更新を支援する企画研修部、県士会承認事業を担う登録・認定・専門管理部が新設されます。加えて、後期研修部にはブロック学術担当の方に部員として所属していただくことになりました。いまだに、制度の周知が会員に十分に行き渡っていない現状があり、今回このような組織改編を行うに至りました。会員の皆さまの学術活動を支援できるような体制整備を図り、県士会活動を行ってまいりますのでよろしくお願いいたします。

### 【2023年度の研修会予定】

学術局 企画運営部 部長 室 井 大 佑

昨年度からの新生涯学習制度スタートに伴い、2023年度においても登録理学療法士取得のための研修会を優先的に実施する予定となっております。しかし、すでに会員の半数近くの方々が登録理学療法士を取得済みであるために、更新のための研修会も随時実施いた

します。5年ごとの更新となりますので、計画的に受講するようお願い申し上げます。千葉県士会またはブロック主催の研修会を実施する予定です。研修会の案内に関しては、日本理学療法士協会マイページや県士会学術局ホームページをご確認いただければ幸いです。

### 【研究支援セミナーについて】

研究支援委員会 委員長 高 杉 潤

研究支援委員会では、県士会員の皆様の研究活動に役立つセミナーを企画しています。今年度は合計9回のセミナーを開催し、盛会に終えることができました。来年度は、研究法入門や抄録作成・プレゼンテーションのコツに加え、論文作成やタイムマネジメントに関する講義も予定しております。県士会のホームページ等を適宜ご確認ください、ぜひご参加ください。会員の皆様の参加を心よりお待ちしております。

### 📠第28回千葉県理学療法学会報告

#### ●「サステナブルな理学療法士の価値の創造」 学術大会を終えて思うこと

～孤独の大会長～

第28回千葉県理学療法学会  
大会長 松 田 徹  
(亀田リハビリテーション病院)

(\*注「孤独のグルメ」井之頭五郎風味で書いてみました。私が孤独だったという意味ではありません。)

2023年3月5日、城西国際大学東金キャンパスにて第28回千葉県理学療法学会が開催された。実に3年ぶりの対面開催の復活であった。

思えば1年前、この学会準備に着手した。当時はまだ、オミクロン株が大流行し始めたころ。対面開催など全く先が見えない状況でのスタートであった。開催できたとしても、演題が集まるのか？また会場に来ていただけるのか……。

コロナ禍はWEBでの学会参加を日常とする恩恵をもたらした。知識ベースのプログラムであれば、WEBの方が学びやすいと私自身も感じる中、あえて対面で学会を開催する意味は何か？新たに見出す必要があった。しかし、対面でしか得られない価値もあるはずだ。変化の激しい未来を生き抜くセラピストの研鑽のためには、私には必須であるとの確信がある。

そうだ、時代はサステナブルだよ（今、流行りだし）。

当日、会場に入る。「お久しぶりです。お元気でしたか」と予定していない顔との偶然の再会。「リアルに会うのは初めてですね。初めまして」とタイムラグのある名刺交換。そこから互いの近況報告や情報共有、仕事の依頼まで受ける。そうだよ、これだよこれ！対面っていいよなあ……。

本学会のテーマは「サステナブルな理学療法士の価値の創造」に決定した。非常に大きなテーマ故にどのような、答えを見出すのか容易ではない。しかし、学会全体のプログラムを通じて、各演者・シンポジストが伝えた言葉の中に、答えを導くヒントがあったと思う。

我々理学療法士にとり、これまでもこれからも普遍的に変わらないこと。それは対象となる患者様、利用者様がいて、我々理学療法士が存在するということだ。我々は患者様の訴えに向き合い、そして治す。そういえばシンポジストの遊佐先生もあえて「治す」、そうおっしゃっていた。それがやはり重要であり、我々は専門職として患者様に触る治療者として技能の研鑽に邁進しなければならない。改めて思った次第であります。

また、それは一個人の治療技術としてだけでなく、科学的な検証を経て臨床に活かされる必要がある。この「科学的な検証と臨床の両輪が未来永劫ふまえて普

遍的である」、とは村山先生のお言葉。そして、その価値を生み出せる人材を、卒前から卒後シームレスの中で教育していく。個々の理学療法士は「リスクリテラシー教育、リカレント教育、学び・学び直し」により常に前に進む必要がある。サステナブルな理学療法士の価値を創造するには、教育（自己研鑽を含む）と効果判定を積み重ねるに尽きる、と加藤先生。さすがです。わが意を得たり。

職場管理者としての役割は、プロフェッショナルな期待値を上回る価値を提供できる理学療法士の育成とそれを後押しするための仕組みと組織づくりに他ならない、と村永先生のご発言。約360年続く老舗の亀田病院の管理者の言葉は重い。

基調講演での臨床・教育・研究・管理の要諦を実行しているのが各ブロック。9圏域の取り組み紹介と今後の展望が発表された。こうして地域に根付いた活動に展開されていく。千葉県の未来は明るいぞ。

一般演題も130演題と過去最大級の活況を呈している。これまでフレッシュマン発表頼りの一般演題だったが、受賞6名を筆頭に優秀な研究者の発表が肩を並べ有望な人材の台頭が伺えた。ますます千葉県の未来は明るいぞ。

後日談として、田中千葉県士会長から「第28回学術大会は記録にも記憶にも残る学会になった」と最大の賛辞を戴いた。身に余る光栄である。

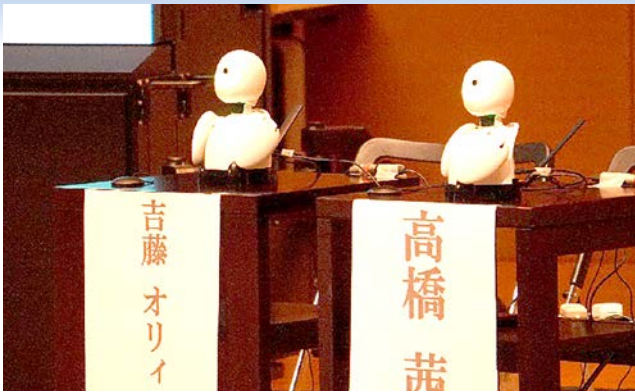
実際、学会成功の指標が一般演題数、学会参加者数であるならば、130演題と過去最高（に近い）数であり、参加者数は事前参加申し込みで対面参加429名、オンデマンド参加415名と844名もの多くの方がエントリーされた。まさしく記録に残る学会となった。また、千葉県理学療法士会初のハイブリッド開催、オンデマンド参加を学会参加ポイント付与させる全国初の取り組みなど、初めてづくしの企画・運営は、今後の学会運営のスタンダードとなりうる。そのような意味でも記録に残る学会であった。

しかし、そんな記録以上に記憶として残る、シンポジストから発せられた心に刺さるフレーズの数々も鮮烈であった。きっとそのように感じたのは私だけではないはずだ。

スペシャルシンポジウムでご登壇いただいた株式会社オリイ研究所所長の吉藤オリイ氏の言葉。『できないことは、価値になる』。ALSなどで寝たきりの状態にある当事者を『寝たきりの先輩』と捉え、将来自分自身







がその当事者になった際『寝たきり後のキャリアを考える』ことができるようにロボット開発に日夜取り組まれている。NPO 法人境を越えて理事長の岡部宏生氏の言葉。『オリヒメが家にやってきたことで、私の視界が開けた。……テクノロジーのおかげで部屋が見渡せるようになったのです。よく昔から天井を見て人生を送っているという表現が使われますが、テクノロジーはそんな暮らしから私たちを解き放ってくれます。私は自分の言葉でなくアクションを添えることを得たのです。それは思った以上に大きな喜びでした。』岡部氏が初めてオリヒメを使用した時『オリヒメには血が通っているな』と思ったとのことだった。OriHimeパイロットの高橋茜さんの言葉。『やってみるというチャンスがそもそもなかった。オリヒメを使って、できること、苦手なことがわかって嬉しかった。』

リハビリテーションにおける「活動・参加」への取り組みの重要性。勿論頭では理解していた。しかし、テクノロジーの進化がもたらす近未来はその想像をはるかに超えていた。われわれ理学療法士はテクノロジーを知り、目の前の患者様に選択肢として提示し、患者様に未来の希望ある可能性を語る責務があるのだ



と感じた。

……あれから、2週間が経つ。

今こうして県土会ニュースのコラムを書いている。思い返すと、共に1年間活動してくれた準備委員の面々が目に浮かぶ。準備委員長小林先生、事務局長の奥村さん、学術局長の山岡先生、広報局長の瀬瀬先生、運営局長の桑江先生、プロコムインターナショナルの大崎さん、工藤さん、他委員および当日スタッフの皆さん。皆様の協力なしに本学会の成功は成し得ませんでした。ここに最大限の感謝を申し上げます。

今も時折胸に込み上げるものがあります。



おかしいな、原稿が滲んで見える……。そろそろ筆を止めたいと思います。

～孤独の大会長・完～



## ☑一般社団法人千葉県理学療法士会

### ●令和4年度 第8回理事会 議事録

日 時：令和5年1月13日（金）19時00分～20時10分

場 所：WEB会議

出席者：〈理事〉田中康之、薄 直宏、竹内弥彦  
高橋 聡、児玉美香、藤井 顕  
小川明宏、外口徳章、松川基宏  
高杉 潤、桑江 豊、松田 徹  
西田裕介、小林好信、三和真人  
中村亮太、山岡郁子、榎尾英之  
藤川孝彦、森田悠介

〈監 事〉宮前信彦、吉田久雄、西山晴彦

〈委任状〉渡辺政基

〈欠 席〉草木雄二

〈委員長〉内村 元

〈事務局〉奥村龍之

〈書 記〉菊池俊明

#### 1 報告

##### 1) 会長報告

12月9日（前理事会終了後）から本日までの行動概要について報告された。

ニューレジリエンスフォーラム全国大会について案内及び出席依頼について連絡された

##### 2) 三役局長会議報告

三役局長会議は1月10日に開催され、議案調整等について報告された。

##### 3) 事務局報告

事務局会議（1月5日開催）の議題（定款の修正について、ブロック経理関連、広報関連、人材バンクについて、事務局BCP関連、PT週間の企画検討等）について報告された。

##### 4) 第28回千葉県理学療法学会の準備状況について

演題査読と座長依頼、セッション分けまで終了したことが報告された。

事前参加登録期間については以下のとおり開始している。

2023年1月5日（木）～2月17日（金）：クレジットカード

2023年1月5日（木）～2月2日（木）：銀行振込  
なお、学会ホームページの事前参加登録の方法に

ついて検討された。

#### 2 審議事項

##### 1) 50周年記念式典会場確保について

会場の確保について金額やサービスの質なども考慮して検討する必要があるため、会場の決定について三役に一任することを賛成多数にて承認された。

次回、令和4年度第9回理事会

日時：令和5年2月10日（金）

会場：WEB会議

### ●令和4年度 第9回理事会 議事録

日 時：令和5年2月10日（金）19時00分～20時20分

場 所：WEB会議

出席者：〈理事〉田中康之、薄 直宏、竹内弥彦  
高橋 聡、児玉美香、藤井 顕  
小川明宏、外口徳章、松川基宏  
高杉 潤、桑江 豊、松田 徹  
西田裕介、小林好信、三和真人  
中村亮太、山岡郁子、榎尾英之  
森田悠介、草木雄二

〈監 事〉吉田久雄、西山晴彦

〈委任状〉藤川孝彦、渡辺政基

〈欠 席〉

〈委員長〉内村 元

〈事務局〉奥村龍之

〈書 記〉菊池俊明

#### 1 報告

##### 1) 会長報告

1月13日（前理事会終了後）から本日までの行動概要について報告された。

第43回関東甲信越ブロック理学療法士学会について、2024年の担当は千葉になること、学会長は田中会長となること、会期・会場は2024年10月5、6日幕張メッセを第一候補とし、19、20日そして26、27日の東京ベイ幕張のいずれかで検討されていることが報告された。

##### 2) 三役局長会議報告

三役局長会議は2月6日に開催され、議案調整等について報告された。

代議員の選出方法について、規律に基づいて追加



選出を行うことが確認された。

### 3) 事務局報告

事務局会議（2月2日開催）の議題（PT週間の企画について、定款の修正について、ブロック経理関連、広報関連、人材バンクについて、事務局BCP関連、2023年度事業計画予算案、情報の提供あり方検討等）について報告された。

### 4) ブロック学術担当向け説明会と後期研修

2023年2月15日（水）19時からブロック学術担当向け説明会を開催すること。併せて、2月27日（月）～3月1日（水）に後期研修領域別研修Cプログラムを学術大会の連動企画として開催することを報告された。

### 5) 日本理学療法士協会・千葉県士会への入会メリットの調査について

県士会学術大会会場において会員に向けて入会のメリット調査を実施すること、結果は新人歓迎セミナー・各養成校にチラシやポスター等で掲示できるように準備する予定であることが報告された。

### 6) 事務局BCP訓練実施報告

地震・水害・感染症のシナリオに対し総会実施の可否と方法を事務局担当理事と奥村氏、災害対策委員で検討したことが報告された。なお、3月11日に安否確認訓練も実施予定である。

### 7) 第28回千葉県理学療法学会の準備状況について

三役の承認により、現在の感染状況から予定どおり対面開催とすることについて報告された。

併せて、申し込み等の進捗状況についても報告された。

## 2 審議事項

### 1) 生涯学習制度推進のための組織改編について

2022年度から開始された新生涯学習制度について、会員の認知・理解度を向上させ履修のサポートを強化するために、2023年度から以下の組織に改編すること、併せて年度内より活動することが賛成多数にて承認された。

改編は、PT協会が義務教育と位置付けている登録理学療法士の取得者を増やす体制を強化することを目的に、前期研修部と後期研修部を設置し、加えて登録理学療法士や認定・専門理学療法士更新を促進させる企画研修部を設置し、各ブロックとの調整も図りながら、生涯学習を推進すること等が報告された。

### 2) 第2号議案の定款改定を求める件について

目的と事業の中にある「保健医療福祉の文言」の修整が確認できているところと未確認の箇所があったため、修正することについて賛成多数にて承認された。

次回、令和4年度第10回理事会

日時：令和5年3月10日（金）

会場：WEB会議



## ◆ 編集後記 ◆

### ● コロナ禍あけに向けて

ニュース編集部 部長 纈 纈 琢 磨

寒いが続いていますが、皆さまいかがお過ごしでしょうか。ニュース編集部 部長の纈纈です。会員の皆さま、いつも県士会ニュースをご覧いただきありがとうございます。とうございませう。

さて、224号より副会長の皆様から巻頭言をいただいておりますが、本号は高橋副会長より巻頭言をいただき、「長いコロナトンネル」というタイトルでした。

『3年半に渡った長いトンネルもようやく出口に近づき光が見えてきました。』『トンネルを抜ける年度、さあこれからです。皆さん一緒に盛り上げていきましょう!』とありました。

今年の5月8日に日本政府は新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けを5類へ引き下げることを選定したことや、令和5年3月13日以降、マスクの着用は個人の主体的な選択を尊重し個人の判断が基本

となり、令和5年度は以前の生活様式を取り戻していけそうな期待が膨らんできています。

3月5日に行われた第28回千葉県理学療法学会も3年ぶりの対面開催することができました。私も広報局として、この大会に携わらせていただき、大会当日も運営のお手伝いをしておりました。久しぶりに多くの後輩や先輩、知人に会うことができました。やはり、対面の良さは肌感のあるコミュニケーションだと強く感じました。

また、様々な活動が再開されてきており、私が携わる様々な活動も再開されてきています。この3年間はコロナ禍だからと怠けていたので、自分が抱えている物の多さに最近ぐったりしてしまっていますが、徐々に身体や思考も以前の生活に戻っていければと思っています。

最後になりますが、つたない文章を最後まで読んでいただき、ありがとうございました。

今回のニュース原稿の締め切りは  
令和5年4月20日です!

## 千葉県理学療法士会は働きやすい職場づくりを応援しています

困ったときは相談窓口(外部)へ

千葉県理学療法士会外部相談窓口紹介ページ

<https://www.chiba-pt.or.jp/pg2188624.html>



### 問い合わせ先

- 千葉理学療法士会ホームページ  
<http://www.chiba-pt.org/>
- 求人広告のお申込・お問い合わせ  
[chiba-rpt@crest.ocn.ne.jp](mailto:chiba-rpt@crest.ocn.ne.jp)
- ニュース編集部  
部長 纈 琢磨  
[t.kouketsu@asunargroup.jp](mailto:t.kouketsu@asunargroup.jp)

※当県士会ニュースの無断転載・引用はかたくお断りいたします

発行人 田 中 康 之

発行 一般社団法人 千葉県理学療法士会  
事務局

〒260-0013 千葉市中央区中央1-11-1  
千葉中央ツインビル1号館1005号室  
Tel 043-301-3065/Fax 043-301-3066  
(電話対応の詳細はHP参照)

Mail [chiba-rpt@crest.ocn.ne.jp](mailto:chiba-rpt@crest.ocn.ne.jp)

編集部 部長 纈 琢磨

医療法人社団 君津あすなろ会  
小見川あすなろクリニック

〒289-0314 千葉県香取市野田280-1  
Tel 0478-79-5683/Fax 0478-79-5684  
Mail [t.kouketsu@asunargroup.jp](mailto:t.kouketsu@asunargroup.jp)